

特別展 没後50年記念（1階展示室）

内田百閒

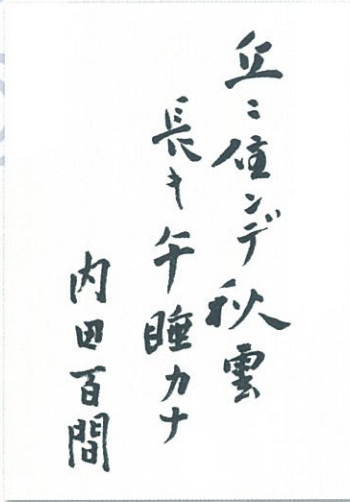
（1期）7月18日（日）～8月1日（日） 文章への道
 文章への道 漱石との出会い
 替入（2期）8月3日（火）～8月15日（日） 戦 争 記録と記憶
 阿房列車 乗り物への憧憬
 随筆色々 戦後の活躍
 文章の道 弟子たちに示したものは

今年、内田百閒（ひゃくかん）（1889～1971）の没後50年、また、百閒の生誕百年を記念して始まった岡山県「内田百閒文学賞」が30年の節目の年です。

稀代の文筆家内田百閒が求め続けた「文章の道」を、著作本や直筆原稿、初出掲載誌、遺品などでたどります。

特別展では著作本全冊を全会期にわたり展示。また、直筆原稿やゆかりの品々は5期に分けて展示し、百閒が遺した豊かな文章世界を紹介します。

<展示期間> 4期



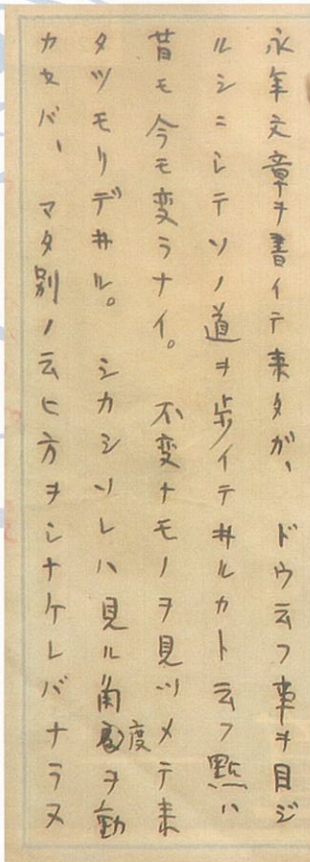
（吉備路文学館所蔵）

「丘に住ンデ秋雲長き午睡カナ 内田百閒」



球磨川の河原でひとやすみ／昭和32年 小石清撮影（岡山県郷土文化財団所蔵）

<展示期間> 5期



直筆原稿「埋草隨筆」ノ序（部分）（岡山県郷土文化財団所蔵）

文章の道

企画展では、内田百閒文学賞の受賞作品集を全巻展示し、30年間の軌跡を紹介します。この文学賞は、岡山県にゆかりのある風土、歴史、人物などを題材に募集するもので、多彩な岡山が表現されています。最終審査員には文壇の一线で活躍中の作家を迎えて、その選評にも定評があります。展示では、受賞作品の舞台となった場所や事物、受賞後の活躍を紹介します。

企画展（2階展示室）

岡山県「内田百閒文学賞」

30周年記念展



『第15回岡山県「内田百閒文学賞」受賞作品集』（作品社／令和3年）



第六回岡山・吉備の国「内田百閒文学賞」長編小説部門最優秀賞受賞作『墳墓』（作品社／平成14年）



内田百閒生誕百年記念岡山・吉備の国文学賞長編部門受賞作『丘の雑草たち』（福武書店／平成4年）

この文学賞は平成2年(1990年)に募集が開始され、今までにタイトルを2度変更して継続しています。内田百閒の名を冠した文学賞は後進を育てています。